

第4章 市民協働による小規模公園 ・緑地活用のアイデア

第4章 市民協働による小規模公園・緑地活用のアイデア

4-1 小規模公園や緑地を活用したライフスタイルとは

「健康」応援都市のライフスタイル

1日の生活の中で、屋外のみどりや空や風を感じながら過ごす時間はどれくらいありますか？職場も学校とも違う地域の人たちと、一緒にお喋りすることはありますか？

市では、都会で生活しながらも、屋外で気持ちよく過ごす時間をつくったり、地域でつながりをつくる機会を増やすことで、毎日の生活を少しだけ豊かにするような「健康」応援都市ならではのライフスタイルを提案しています。

小規模公園や緑地を地域の庭として活用しよう

そのようなライフスタイルを実現するきっかけとして、地域に多くみられる小規模公園や緑地が活用できると考えています。市の小規模公園や緑地は、その名の通り公園面積が小さく、住宅地にあることも多いので、大きな公園と同じような方法で活用することはできません。しかし、小規模公園や緑地は、自宅や職場の近くにある身近な屋外空間であることから、地域の庭として生活の中にささやかな豊かさや楽しみを生み出すための活動を実現できる空間であると考えられることもできます。

生活やまちが変わるきっかけに

そのような地域の庭としての身近な屋外空間が魅力的に活用されていくことは、私たちの生活や暮らしているまちが変わっていくきっかけになると考えています。「健康」応援都市ならではのライフスタイルとは、このような公園づくりや地域づくりに楽しみながら参加することを通して、自分自身の人生を豊かなものにしていく暮らし方であるともいえます。

4-2 小規模公園・緑地活用の方法

市の目指す小規模公園や緑地の活用は、市民のやってみたい企画を市民自身が実現することを支援するものです。基本的な考え方として、市民協働で事業を実施することを前提に、小規模公園や緑地を活用したい市民と共に、公園管理者が設置する事務局が企画の実現を支援します。また、公園は誰でも自由に活用できる公共空間であるため、実現を目指すアイデアは以下の3つの考え方に基づくものとします。

【小規模公園や緑地で実現したいこと】

- ① 活動する人たちが楽しいこと
- ② 誰でも活動に参加できること
- ③ 地域のためになること

具体的には、まずは事務局を発足し、市民の活動を支援できる体制をつくります。次に、計画の策定を通して市民から発案された小規模公園や緑地の活用のアイデアを広く市民に伝えます。これを受けて、アイデアを実現してみたい個人や団体は、事務局と相談・協議を進めながら活用する小規模公園や緑地を選定し、アイデアの実現を目指します。アイデアの実現は、ある一定の期間を設けた試験的な実施とします。試験的な実施を通して、公園周辺の市民の意見を踏まえ、相談・協議を行います。また、事務局は、主体的な市民の活動を支援・バックアップを行い、情報発信にも協力し、近隣住民に対しても活動する市民と二人三脚での活動の実現に努めます。

以上の方法で、市民協働による小規模公園や緑地の活用を目指します。

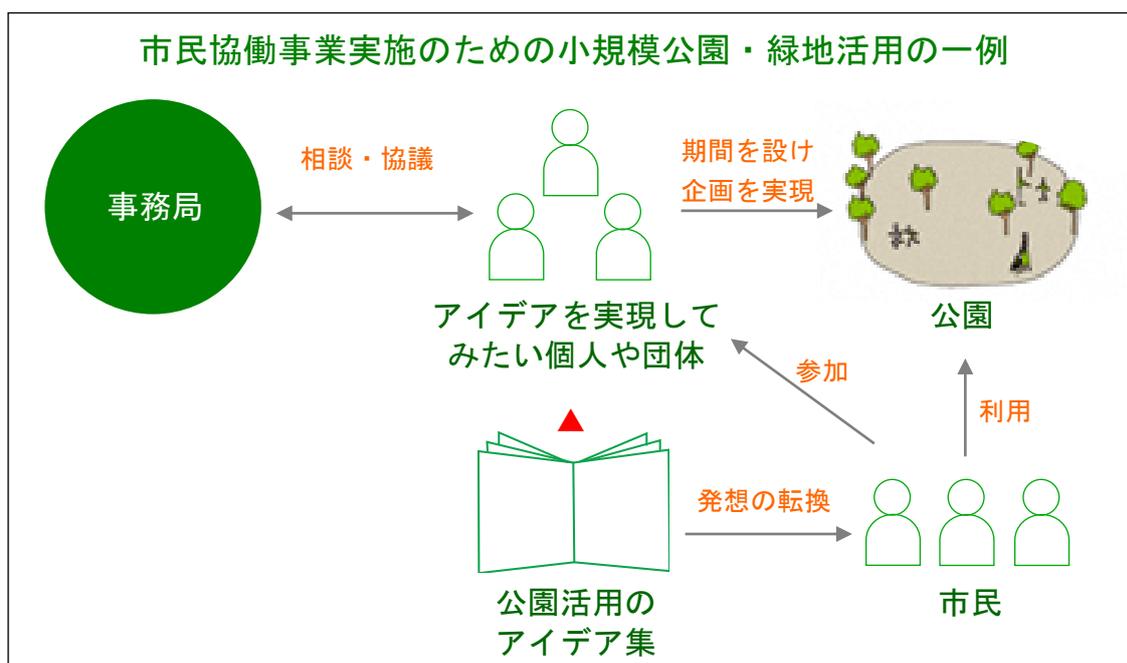


図 4.1 市民協働事業実施のための小規模公園・緑地活用の一例

4-3 小規模公園・緑地活用のアイデア

4-3-1 市民ワークショップの開催

市民協働で小規模公園や緑地の活用を進めるためには、小規模公園や緑地で実現するアイデア自体が、市民がやってみたい内容であり、かつ地域に求められているものであることが大切です。

そのため、平成 29 年度は全 2 回の市民ワークショップを開催し、参加者とともに小規模公園や緑地を活用して実現したいアイデアについて意見交換をしました。これらの意見交換を通して、小規模公園や緑地を活用する様子を生活の中で具体的にイメージしてもらうとともに、市民協働による活用に向けた機運づくりを行いました。

市民ワークショップの概要（全 2 回）

① 第 1 回市民ワークショップ

小さな公園を活用して生活の楽しみを生み出そう

・日時：平成 29 年 7 月 9 日（日）

14：00～16：00

・場所：西東京いこいの森公園

・参加人数：34 名



小規模公園の大きさを体験

② 第 2 回市民ワークショップ

小さな公園を活用したライフスタイルとは

・日時：平成 29 年 9 月 9 日（土）

14：00～16：00

・場所：西東京エコプラザ

・参加人数：35 名



チームに分かれてアイデアの話し合い

図 4.2 市民ワークショップの概要

4-3-2 小規模公園・緑地活用のアイデア

市民協働の小規模公園や緑地の活用のアイデアをより充実したものとするために、平成29年度の市民ワークショップで出たアイデアに、平成28年度の市民ワークショップで出た小規模公園や緑地の活用に関わるアイデアを加え、一覧表にまとめました（表4.1）。各々のアイデアは、例えば育てるや食べるなど生活の中に見られる活動ごとに分類しました。小規模公園や緑地を活用しながら、活動の選択肢を増やしていくことは、都市における私たちの生活をさらに多様で豊かなものにすると考えられます。

また、一覧表にまとめたアイデアのうち具体的な内容については、市民提案企画の例として詳細を記述しています（図4.3）。

これらの市民ワークショップでのアイデアを基に検討を進め、将来的には小規模公園や緑地を活用してアイデアを実現したい市民の募集を行います。

表4.1 市民ワークショップで出た意見のまとめ

活動の種類	意見
食べる	民間に貸して屋台やキッチンカーの屋外カフェをつくろう
	収穫した野菜を使ってケータリングが提供できるようにしよう
	静かにお酒が飲めるバーイベントを開催しよう
	一品持ち寄り居酒屋をやってみよう
	近所の人みんなでランチをしてみよう
	屋外の子供食堂をやってみよう
料理する	畑で収穫した野菜で朝ごはんをつくろう
	各公園で異なるハーブを育て、公園をめぐる料理教室をやってみよう
育てる	体験農園に隣接しているという立地を活かして、シェア農園をやってみよう
	小さな公園は地域の人が自由に家庭菜園に利用できる畑にしよう
	レモンやオレンジなど実のなる樹木を植えよう
	ホップを育ててクラフトビールをつくろう
	小さな公園や緑地をガーデニングができる共用の庭としよう
	子供たちと一緒に植物を育てて近所の庭に配ろう
	虫を育てられる公園をつくろう

表 4. 1 市民ワークショップで出た意見のまとめ

活動の種類	意見
買い物する	農地の横の公園・緑地でファーマーズマーケットを開催しよう
	農家の朝市や産直等のマルシェを開催しよう
	バザーイベントをやってみよう
	移動販売を集めた市民ミニマルシェを開催しよう
	近所の人たちで1日限定カフェをやってみよう
	手づくり品の販売イベントをやってみよう
働く	屋外で仕事や勉強ができるコワーキングスペースをつくってみよう
交流する	本を物々交換できる青空図書館をつくろう
	おもちゃの物々交換所をつくろう
	近隣住民のオープンガーデンとして活用しよう
	色んな昔遊びが体験できる公園をつくろう
観る	ご近所で映画やスポーツ上映を楽しもう
	お花見ポイントを発見し花見会場プロデュースしよう
遊ぶ	小さな公園を常設のプレーパークにしよう
	公園全体をミニカーのコースにしてみよう
	夏場に思いっきり水遊びできる公園をつくろう
	落ち葉を使ってプールやアートをつくり、最後は焼き芋をやろう
	小さな公園をつないで宝探しゲームをやろう
	小さな公園をつないで肝試しをやろう
	公園全体を砂場にしよう
運動する	散策の休憩ポイントをつくり、小さい公園や緑地をめぐるウォーキングコースをつくろう
	公園をめぐるスタンプラリーをやってみよう
	地域のみんなで楽しめる卓球場にしてみよう
	健康づくりに特化した公園をつくろう
感じる	アーティストや美大の学生と協働して、作品を展示する公園美術館をやってみよう
	公園で写真展を開催してみよう
	地域の人々の作品を発表や展示できるようにしよう

表 4. 1 市民ワークショップで出た意見のまとめ

活動の種類	意見
つくる	公園のベンチやテラスなどをDIYで製作し、休憩ポイントをつくろう
	DIYで色々な道具が製作できる会員制の工房をつくろう
	子供たちの野外工作教室をやってみよう
	公園にツリーハウスをつくろう
	DIYでオリジナルの秘密基地をつくろう
休む	ハンモックや寝そべれるベンチでお昼寝してみよう
	みんなで芝生を敷いて小さい子供がゴロゴロできる場所をつくろう
	ハンモックで寝そべりながらコーヒーを飲もう
泊まる	てぶらでキャンピングパークをやってみよう
学ぶ	アウトドア体験を兼ねた防災キャンプをやろう
	子供たちの青空教室をやってみよう
触れ合う	ペットと触れ合える専用公園をつくろう
その他	市民に専用公園として1日自由にレンタルできるようにしよう

番号	タイトル	企画内容
1	市民パークマルシェ	移動販売などを集めて、公園ごとにマルシェのテーマを設定し、小さな公園をめぐりながら楽しめるイベントを開催。 プロだけでなく、近所に暮らす人たちも気軽に出店でき、交流を楽しむことができる。
2	子供ライブラリー	公園に地域の共有本棚を設置し、子供たちの本を物々交換できるようにする野外ライブラリー。 ハンモックに揺られながら、コーヒーを片手に親子で読書を楽しむことができる。
3	サイレントバー	静かにお酒を楽しむバーイベントを開催し、公園をオシャレで大人の空間に変身させる。 将来的には、公園で育てたホップを使ったクラフトビールの飲み比べなどもやってみたい。
4	コミュニティ ハーブガーデン	公園ごとに種類の異なるハーブを育てる、会員制のハーブガーデンをつくる。 色々な種類のハーブガーデンをめぐりながら、ハーブを収穫し、ティーパーティーや料理教室などもやってみたい。
5	おばけやしき	小さな公園をお化け屋敷にみたく、小さな公園をめぐると肝試しイベントを実施。
6	DIY ものづくり公園	みんなでDIY ベンチやテラスなどを製作し、手づくり満載の秘密基地のような公園をつくる。 自由にDIY のものづくりができる工房を設置し、様々な道具をつくれるようにしていきたい。

図 4.3 具体的な市民提案企画の例

4-4 実現に向けた市民のアクション

市民協働の小規模公園や緑地の活用の本格実施に向けて、市民ワークショップのメンバーから希望者を募り、アイデアの実現に向けて試験的に取り組みをスタートしました。

現在は、小規模公園や緑地の活用に向けた企画の実現に向けて、市民とともにアクションを起こしています（図 4.4）。

各チームの取り組み内容

① パークマルシェ（ひばり日和。）

【目的】

食をテーマに地域のつながりをつくる。

【取り組み】

小規模公園の活用について、市内の農家、武蔵野大学、指定管理者が連携し、主体的な市民がその中心となり、農家による野菜の直販や公園ピクニック&交流会を開催しました。このような取り組みを通して、マルシェやカフェのような場としての活用も含めて、小規模公園における様々な可能性について、地域の人々に発信しています。



朝から行列ができるほどの人気に



マルシェの後は公園ピクニック&交流会



イベント終了後は公園をみんなで清掃



「ひばり日和。」のみなさん

図 4.4 市民のアクション（ひばり日和。）

各チームの取り組み内容

② ハーブガーデンプロジェクト（花の会）

【目的】

見て楽しむ、味わって楽しむ、造って楽しむ事を通した、園芸福祉活動。

【取り組み】

ハーブガーデンプロジェクトについては、西東京花の会の創立 20 年記念事業として検討され、さらに公園配置計画策定のためのワークショップにも参加するなかで、プロジェクトとして、11月に発足しました。

このプロジェクトのコンセプトは花壇を見て楽しんで頂くだけではなく、ハーブを使った各種の講座を実施して、ハーブを様々かたちで楽しんで頂く事を目的としています。

見て楽しむ、味わって楽しむ、造って楽しむ事を通して、園芸福祉活動をしていきたいと考えています。

今後は、ハーブガーデンや保谷町ローズガーデンなどのコンセプトを明確にした個性豊かな公園や花壇づくりを目指していく中で、小規模公園の活性化や花いっぱい運動、園芸福祉活動が推進されていくと考えております。



プロジェクト実現に向けた会議の様子

図 4.5 市民のアクション(花の会)